

まちづくりシンポジウム

長寿命建築による 持続可能な地域社会構築の展望

わが国の建築物についてはこの半世紀、スクラップアンドビルトを繰り返す中で社会の良好な共通財産として地域に蓄積してゆくことに失敗し、人々に大きな負担を強いる状況を生んでいる。今後、少子高齢下で持続可能な社会を構築するには、これまでの建築物の在り方、および社会的共通資本・社会ストックの形成方法を抜本的に見直す必要がある。

今回は、リファイニング建築の提唱者である青木茂氏をお招きしご講演いただくとともに、日頃より街並みの更新や長寿命化などのまちづくりに取り組んでおられる方々にお集まりいただいて、長寿命建築を基にしたこれからの地域社会の構築やまちづくりの在り方について議論していただく。

日時：2013年2月24日（日）14時～17時
会場：さざんか会館（鳥取市富安2丁目104-2 TEL:0857-29-7151）大会議室
主催：鳥取環境大学
協力：長寿命建築とファシリティマネジメントを考える会
注）入場料無料。定員（200名）になり次第、締め切らせていただきます
お問合せ先：木俣 信行 研究室 TEL：0857-38-6778

～プログラム～

13:30～ 受付

14:00 開会・主旨説明 鳥取環境大学 特任教授 木俣 信行
「持続可能な社会に向けた建築的行為の向かうべきもの」

基調講演 「リファイニング建築

リファイニングシティへの道」

首都大学東京 特任教授
株式会社青木茂建築工房主宰
青木 茂



休憩（10分）

パネルディスカッション

ー 長寿命建築による社会ストックの形成・

持続可能な社会構築への課題と方策 ー

【コーディネータ】

地域デザイン研究所

吉田 幹男

【パネリスト】（順不同）

鳥取大学 教授

野田 邦弘

鳥取県智頭町長

寺谷 誠一郎

鳥取県商店街振興組合連合会理事長

渡辺 博

【アドバイザー】

（前出）

青木 茂

17:00 まとめ・閉会

木俣 信行